

# 入社4年目の私が1人から始めた、会社の“変革”！

## 30 横関 美香 さん Mica Yokozeki

企

伊賀

光洋メタルテック 株式会社 (伊賀市)  
人事部多様性推進グループ 主任、人事グループ 主任

事業所

光洋メタルテック 株式会社

三重県伊賀市佐那具町1626番地

http://www.koyo-mt.com

社員数：470名

業種

輸送用機械・機具 部品製造、ペー  
リング・ステアリング部品の製造



### Profile

- ・2014年42歳で現在の会社に入社
- ・会社改革を目指し1人で社長に直訴
- ・社内へのダイバーシティ&インクルージョンの浸透に奮闘中

### 講演・相談可能分野

- 仕事と家庭の両立 育ボス
- 人材育成 障がい者雇用 起業
- NPO 設立 多文化共生
- 地域資源活用 防災
- その他 (キャリアアップ・キャリアデザイン)

### 講演実績

## 「私の使命」

### 「社長、私に会社を変えさせて下さい！」

横関さんの職歴は、豊富で華やか。「関西の大手通販会社では、新人研修担当とコールセンターのスーパーバイザーに就いていました。その後就職したフィットネスクラブでは、店長に」。

しかし家庭の事情で転居した伊賀市では、これまでのやり方が全く通用しなかったといいます。伊賀での就職先は、創業半世紀の車両部品メーカー、社員数約450名の光洋メタルテック株式会社でした。

「仕事に疑問や異論を唱えても暖簾に腕押し。組織の論理に縛られて、個の意見はどこにも届かない」。

思い余った2018年に、入社4年目の横関さんは1人で社長室に乗り込み、啖呵を切りました。「社長、この会社はおかしいです。私に会社を変えさせて下さい！」。

### 会社を変えることが、会社への恩返し

勇気を奮ったきっかけは、自身の“がん”の寛解でした。「2016年にがんが見つかり、臓器摘出手術を受けました。職場復帰後もしばらくは体調が戻らず、休憩時間に車で横になったことも。この時に初めて私は、自分が死ぬことを意識しました」。

体調の回復を実感できたのが2018年5月。文字通り“死ぬ気になれば何でもできる”精神で社長に訴えかけたといいます。諦めて転職する道は、全く考えませんでした。

「40歳を過ぎた私を雇用してくれた会社に対する恩があります。受けた恩は行動で返すべき」。横関さんが目指したのは、誰もが憧れる良い会社。働きがいがあり、社員が生き生きとした会社。横関さんの挑戦が始まりました。

## 私流リーダーシップ

### 仲間を募り、理解の波を徐々に広げる

横関さんは社長(当時)に諭されました。「会社を変えたいなら仲間をつくれ」。その言葉を受け、早速仲間の勧誘を開始。同僚の萩森康成さんと藤岡佑介さんに声をかけました。「2人とも部内で人望の厚い人です。私の思いを汲んでくれました」。

その日から3人は退勤後に集まり、会社の改善点を洗い出しました。挙げた主な内容は、形骸化した書類・会議・研修の見直し/働きがいの向上/目標の共有/環境改善など。これらの問題を5年で解決するロードマップを作成。離職率の低下や、会社に対する愛着度の向上が望めることを提案書にまとめました。

3人で仕立てた提案書は、専務に受理され、経営会議を経て即日採用されました。

### 学びを忘れず自分が“自律型人材”になる

会社は速やかに改善策を実行しました。主には、①多様性推進チームの新設 ②専門家によるダイバーシティ研修 ③課長と部下が1対1で対話する『1on1ミーティング』④朝の挨拶運動 ⑤女性社員の社外研修への参加など。横関さんは人事部社員として、①②④⑤を担当します。

「ダイバーシティ推進者として間違ったことを伝えてしまわないように」と、キャリアコンサルタント養成講座などを受講中。『自律型人材育成ファシリテーター』の資格は、専務や社内の賛同者4人で取得。「私が言いたいことは一つ『みんなが幸せになればいいじゃん』」。

1人で始めた戦いは、仲間がで、上司にも見守られるように。横関さんの挑戦は、まだ始まったばかりです。

(取材時：2018年11月)

### こんな講演・相談に対応できます

- 会社を変える具体的改善策
- 会社に響く提案書作成
- 自律型人材を目指す社内啓発
- 社員研修 (秘書検定準1級・労務管理士資格あり)

### お問い合わせ先

三重県 ダイバーシティ社会推進課

TEL：059-224-2225

WEB：http://www.pref.mie.lg.jp/katsuyaku/index.htm

WEBは  
ここから

